

平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年4月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 東北化学薬品株式会社

コード番号 7446 URL <http://t-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘

問合せ先責任者 (役職名) 管理グループ長兼管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉

TEL 0172-33-8131

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	10,024	5.7	183	—	196	—	75	—
21年9月期第2四半期	9,485	△7.1	△75	—	△57	—	△48	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	15.69	—
21年9月期第2四半期	△10.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	9,518	4,226	44.4	881.69
21年9月期	7,907	4,148	52.5	865.47

(参考) 自己資本 22年9月期第2四半期 4,226百万円 21年9月期 4,148百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
22年9月期	—	—	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	6.6	270	—	305	—	145	—	30.25

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年9月期第2四半期 | 4,800,000株 | 21年9月期 | 4,800,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年9月期第2四半期 | 6,601株 | 21年9月期 | 6,400株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年9月期第2四半期 | 4,793,465株 | 21年9月期第2四半期 | 4,793,600株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機による需要是最悪期を脱したと思われるものの、企業収益や設備投資が減少したほか、依然として雇用・所得環境は厳しさを増しており、物価動向もデフレ状況にあるなど、先行き不透明なまま推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、100億24百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は1億83百万円（前年同期は営業損失75百万円）、経常利益は1億96百万円（前年同期は経常損失57百万円）、四半期純利益は75百万円（前年同期は四半期純損失48百万円）となりました。

各部門の業績は、次のとおりであります。

（化学工業薬品部門）

化学工業薬品部門においては、化学工業薬品は半導体関連企業の製造が回復基調にあるものの薬品の需要は未だ落ち込んでおり、厳しい環境が続いております。一方、同関連機器については、大型補正予算の影響で大きく伸びました。この結果、売上高は57億87百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

（臨床検査試薬部門）

臨床検査試薬部門においては、医療費改定の影響による値引要請や入札の共同化、広域化による広域卸の参加などの影響を受け、取り巻く環境は非常に厳しい状況であります。しかしながら、同関連機器が伸びたため、売上高は33億円（前年同期比3.1%増）となりました。

（その他の部門）

食品、農業資材部門においては、景気低迷、デフレの影響を受け、販売価格の落ち込みなど厳しい環境でした。この結果、売上高は、9億36百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、16億11百万円増加し、95億18百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、15億33百万円増加し、52億92百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、77百万円増加し、42億26百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

（資産）

資産の増加の主な原因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

（負債）

負債の増加の主な原因は、支払手形及び買掛金が増加したことによるものであります。

（純資産）

純資産の増加の主な原因は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、8億48百万円増加し、12億26百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は9億39百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1億58百万円、仕入債務の増加額13億61百万円及び売上債権の増加額5億43百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は43百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出17百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は47百万円となりました。主な要因は、配当金の支払額38百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第2四半期までの業績動向を踏まえ、平成21年11月13日に公表した平成22年9月期の第2四半期累計期間及び通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,232,059	383,246
受取手形及び売掛金	4,314,556	3,756,707
商品	657,883	468,295
その他	75,762	156,936
貸倒引当金	△42,881	△37,198
流動資産合計	6,237,380	4,727,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	505,370	519,343
土地	1,345,827	1,345,827
その他(純額)	250,592	199,754
有形固定資産合計	2,101,790	2,064,925
無形固定資産		
のれん	2,615	3,268
その他	13,113	8,676
無形固定資産合計	15,728	11,945
投資その他の資産		
投資有価証券	715,352	676,837
その他	453,655	440,903
貸倒引当金	△5,468	△15,387
投資その他の資産合計	1,163,540	1,102,353
固定資産合計	3,281,059	3,179,225
資産合計	9,518,439	7,907,212
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,879,429	3,517,495
未払法人税等	71,110	6,340
賞与引当金	34,390	28,760
その他	95,250	65,080
流動負債合計	5,080,180	3,617,676
固定負債		
退職給付引当金	8,159	5,836
役員退職慰労引当金	57,505	54,602
その他	146,278	80,381
固定負債合計	211,943	140,819
負債合計	5,292,123	3,758,496

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,442,084	2,405,231
自己株式	△3,541	△3,443
株主資本合計	4,140,043	4,103,287
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86,272	45,428
評価・換算差額等合計	86,272	45,428
純資産合計	4,226,315	4,148,716
負債純資産合計	9,518,439	7,907,212

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	9,485,955	10,024,734
売上原価	8,440,319	8,913,801
売上総利益	1,045,635	1,110,933
販売費及び一般管理費	1,121,077	927,871
営業利益又は営業損失(△)	△75,442	183,061
営業外収益		
受取利息	2,664	2,665
受取配当金	4,548	2,527
その他	13,294	8,902
営業外収益合計	20,507	14,096
営業外費用		
支払利息	810	53
その他	1,368	184
営業外費用合計	2,178	237
経常利益又は経常損失(△)	△57,113	196,920
特別利益		
固定資産売却益	66,082	—
投資有価証券売却益	1,519	—
役員退職慰労引当金戻入額	12,035	—
特別利益合計	79,637	—
特別損失		
固定資産除却損	9,750	—
固定資産売却損	16,724	—
投資有価証券評価損	6,688	30,612
投資事業組合運用損	11,074	6,314
その他	—	1,194
特別損失合計	44,237	38,121
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△21,713	158,798
法人税、住民税及び事業税	8,271	67,327
法人税等調整額	18,733	16,268
法人税等合計	27,005	83,596
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48,718	75,202

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	4,996,631	5,529,934
売上原価	4,458,509	4,916,644
売上総利益	538,122	613,289
販売費及び一般管理費	462,327	474,932
営業利益	75,794	138,357
営業外収益		
受取利息	2,188	2,152
受取配当金	921	420
その他	9,875	6,612
営業外収益合計	12,985	9,185
営業外費用		
支払利息	483	34
その他	1,314	86
営業外費用合計	1,797	120
経常利益	86,982	147,422
特別利益		
固定資産売却益	252	—
投資有価証券売却益	1,519	—
貸倒引当金戻入額	4,109	924
投資有価証券評価損戻入益	—	26,109
特別利益合計	5,881	27,034
特別損失		
固定資産除却損	168	—
投資有価証券評価損	568	—
投資事業組合運用損	7,193	2,857
その他	—	1,194
特別損失合計	7,929	4,052
税金等調整前四半期純利益	84,934	170,404
法人税、住民税及び事業税	4,827	64,419
法人税等調整額	1,404	2,513
法人税等合計	6,231	66,933
四半期純利益	78,702	103,471

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,713	158,798
減価償却費	24,371	30,339
投資有価証券評価損益(△は益)	6,688	30,612
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,519	—
投資事業組合運用損益(△は益)	11,074	6,314
引当金の増減額(△は減少)	177,157	6,620
受取利息及び受取配当金	△7,212	△5,193
支払利息	810	53
固定資産除売却損益(△は益)	△39,607	—
売上債権の増減額(△は増加)	300,817	△543,722
たな卸資産の増減額(△は増加)	△144,144	△189,588
仕入債務の増減額(△は減少)	258,597	1,361,415
その他	8,857	14,591
小計	574,175	870,242
損害賠償金の支払額	△60,000	—
利息及び配当金の受取額	7,179	5,227
利息の支払額	△810	△53
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△76,598	64,374
営業活動によるキャッシュ・フロー	443,946	939,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△142,702	△17,723
有形固定資産の売却による収入	79,361	—
無形固定資産の取得による支出	—	△6,406
投資有価証券の取得による支出	△14,670	△7,541
投資有価証券の売却による収入	7,566	—
その他	△9,282	△11,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△79,728	△43,091
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,530,000	21,000
短期借入金の返済による支出	△1,620,000	△21,000
配当金の支払額	△71,528	△38,287
その他	—	△9,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161,528	△47,886
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	202,689	848,813
現金及び現金同等物の期首残高	342,422	377,246
現金及び現金同等物の四半期末残高	545,111	1,226,059

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

著しい変動がないため記載しておりません。

6. その他の情報

該当事項はありません。